

まちくる チケットで 中心商店街を 楽しもう!

共通駐車サービス券「まちくるチケット」、もう利用しましたか？

仙台市中心部商店街の参加店で買い物をすると、その金額に応じて参加駐車場で使用できるチケットが進呈されるというもので、「まちなかの買い物は駐車場代が掛かってしまうから…」と敬遠していた人たちからも注目を集めているサービスです。そこで、今月はこのサービスの特徴や利用法などを紹介します。

「まちくるチケット」の参加店を増やし、
利便性を高めてまいります。

仙台市中心部商店街活性化パートナーシップ準備協議会 幹事長
クリスロード商店街振興組合 理事長

山崎 浩之 さん



2回の実証実験を経て本格運用 徐々に利便性を向上してきました

この仙台市中心部商店街共通駐車サービス券「まちくるチケット」が本格的にスタートしたのは今年の1月。以来、たくさんのお客さまにご利用いただき、手応えを感じているところです。

これまで2回の実証実験を重ねながら本格実施にこぎつけたわけですが、今では参加店舗の総数が145店舗、参加している駐車場も128カ所にのぼっています(平成27年4月1日現在)。

これだけ参加店舗と駐車場が増えてきたのは、「磁気券」の導入と、「100円券」と「400円券」という2種類のチケットを取り入れたことが背景にあると思います。これまでの実証実験では、「どうして(無人の)コインパーキングでは使えないのか」という声が多く寄せられていました。また、「100円券」を導入することで、比較のお客さま単価の低い：例えば飲食店の皆さんも、ちょっとしたランチタイムの割引といった形で、チケットを取り扱いやすくなったのだと思います。

しかしながら、「どのお店でチケットがもらえるのか分からない」という声があるのも確

かです。認知度の面ではまだまだですので、将来的には大型店さんにも参加を呼び掛けながら、さらに利用者の利便性を高めていきたいと考えているところです。

街を回遊して商店街の魅力を

再認識してほしい

「杜の都プレミアム商品券」との
相乗効果にも期待

そもそも、私たちがこの事業に着手したのは、常々、商店街関係者の間に「このまちに共通駐車券システムがあると、車で来られるお客さまの利便性を向上させることができるはず」という思いがあったからでした。そこで、「専門店の集合体」として中心部商店街の魅力をより高めようと、平成22年に「仙台市中心部商店街活性化戦略研究会」を結成。昨年1月には研究会を発展的に解消し、新たに「仙台市中心部商店街活性化パートナーシップ準備協議会」を設立することで各商店街の連携をより緊密にしながら「まちくるチケット」事業を引き継いできました。

共通駐車券を発行しようというアイデアは、もともと郊外の大型店を意識した中で発想されたものですが、今では単なる大型店



とっても
便利!



利用のしかたはカンタンです。

共通駐車サービス券「まちくるチケット」は、仙台市中心部の「もらえるお店(参加店)」で買い物や食事をすると、「使える駐車場(参加駐車場)」の割引券がもらえるサービスです。

128カ所



145店舗



車をとめる

のぼりやステッカーを目印につかえる駐車場に車を停めてまちなにこ。

お店でもらう

もらえるお店でお買い物。お店の人に駐車券を見せてまちくるチケットをもらおう。

駐車場でつかう

駐車場代との差額を精算して出発1回の精算で何枚でも、期間中ならいつでも使えます。

スマートフォンで検索もラクラク!

「まちくる公式スマートフォンアプリ」が無料でダウンロードできます。

現在地や住所、ショップ名、ショップのジャンル、キーワードなどで、仙台市中心部商店街周辺エリアで「まちくるチケット」が利用できるショップや駐車場を検索することができます。また商店街の最新情報が受け取れる会員専用メールサービスも準備しています。

【まちくるチケットホームページ】 <http://machi-kuru.com>

【お問い合わせ】

まちくる事務局 TEL 022-217-0355

仙台市青葉区中央2-5-8(東北ろっけんパーク内)



とっても
お得!



参加店に聞きました

中心部商店街の「多様性」を
より多くの方に楽しんでいただきたいですね。

(株)ハミングバード・インターナショナル

代表取締役社長

青木

聡志 さん



対策ではなく、「お客さまに商店街の魅力を再認識していただくこと」に重点を置いています。お客さまが駐車時間を気にせず、例えば中央通りから一番町に行ってみたり、四季折々に開催される多彩な祭りやイベントを楽しみながら、商店街を回遊していただいたりすることを第一の目的としたわけです。

7月には、「杜の都プレミアム商品券」の発行も予定されています。「まちくるチケット

ト」の相乗効果で、さらにたくさんのお客さまに中心部商店街に足を運んでいただけるのではないかと期待していますし、それが、ひいては仙台全体の活性化につながるのではないかと思います。

「まちくるチケット」への参加店舗および駐車場が簡単に検索できる携帯アプリもありますので、ぜひ、まちなかのショッピングにも、車で気軽にお越しいただきたいと思っています。

飲食店の立場から、この事業には「イタリアンレストラン・ハミングバード」の本町店、一番町店の2店舗で参加しています。郊外型のお店が増える中、街の魅力をつくり、中心部商店街に人を呼び込んでいかなければなりませんので、街を盛り上げていこうという今回の取り組みに対し、何かお手伝いできることがあれば、という思いで参加しました。

最近では、少しずつですが来店されるお客さまからの問い合わせも増えてきていると思います。

まだスタートしたばかりですが、今後は「どこのお店に行ってもチケットがもらえる」という状態になっていけばいいですね。

飲食には、「せっかく街に来たから食事もしていこう」というように、買い物物の付帯サ

ービス的な要素があると思いますので、相乗効果を生むためにも、飲食店の皆さんにもどんどん参加してほしいと思います。

いろいろなお店があるという「多様性」が、商店街の一番の魅力であり、楽しいところだと思いますので、大型店なども巻き込みながら街全体が盛り上がり、いくことで、「チケットがあるから街に行こう」という雰囲気生まれればうれしいですね。

今後は、チケット自体の利便性向上はもちろん、多くのお客さまがさらに街を回遊しやすくなるような取り組みが派生的に増えてくることを期待しています。

これからも、街のイメージアップに繋がるような事業には積極的に協力していきたいと思っています。